Brief Translation of Citation 4

Title of Device:

Rotary Magnet Security Switch

Filing No.:

No. 1978-49769 (April 15, 1978)

Applicant:

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.

Kokoku (Y2) No.:

No. 1983-1946 (January 13, 1983)

CLAIM:

A rotary magnet security switch comprising

- a magnetic block mounted in an engaging recess (9) provided in a switch case (8), engaging with a positioning rib (6), which limits the rotation angle of a magnet bar (2) pivoted in a compact square frame (1) within a certain range by means of the inner shape of the frame (1), and forms the positioning rib (6) on the outer surface of the frame (1), and

- a reed switch (10) placed close to the magnet block

[Brief Explanation of Drawings]

Fig. 1~5 show embodiments of a rotary magnet security switch in the present device.

Fig. 1 is a perspective view showing a magnet block.

Fig. 2a, (b) and (c) are front views of various embodiments without covers.

Fig. 3a, (b) and (c) are explanation drawings of the operation.

Fig. 4 shows another embodiment, wherein (a) is a perspective view without a cover and (b) is a cross-section view A-A.

Fig. 5 shows another embodiment, wherein (a) is a front view without a cover and (b) is a perspective view.

1: frame of magnet block

8: switch case

2: magnet bar

9: engaging recess

3: rotation axis

10: reed switch

4: side wall

11: terminal block

5: stopper

12: magnetic material piece

6: positioning rib

13: case cover

7: supporting bracket

14: mounting bracket

⑫ 実用新案公報 (Y2)

昭58-1946

⑤Int.Cl.* H 01 H 36/00 撤別配号

庁内整理番号

2049公告 昭和58年(1983)1月13日

6708-5G

(全 3 頁)

8ロータリーマグネット式防犯スイッチ

顧 昭53-49769 0)夹

願 昭53(1978)4月15日 匈出

昭54-152972 69公

@昭54(1979)10月24日

者 瀬古富也 何考

-6-1

津市野田字鎌切856番地津金属工 業株式会社内

願 人 松下電工株式会社 包出 門真市大字門真1048番地

②代 理 人 弁理士 石田長七

ᢒ実用新案登録請求の範囲

小型の方形筐体内に枢支されたマグネット棒の 回転角を筺体の内部の形状により一定範囲に制限 するとともに筺体外側面に位置決め用リプを形成 してなるマグネットプロックを、スイッチケース 内に設けられた係合凹所に上記りプを係合して取 付けか つマグネットプロックに 近接してリートス 20 イッチを配設してなるロータリーマグネット式防 犯スイツチ。

本考案は窓、扉などの開閉をこれに貼着された 磁性体片と回転自在なマグネットにより検出し、 マクネットに近接配置されたリードスイッチをオ ンオフす るロータリーマグネット式防犯スイツチ において、防犯スインチ内のロータリーマグネツ ト部を小型筐体に収めてプロック化することによ り、多品種の防犯スインチケースに互換性を持た せてロータリーマクネット部の入れ替えあるいは 交換を容易にすることにより、現場における品種 の選択を可能にするとともに各品種別の製造工程 を簡略化することを目的とするものである。

本考案の構成を実施例図により説明すると、第 1図はマグネットプロックを示すもので、小型の 方形筐体1内に両端に着磁されたマグネット棒2

が収納され回転軸3によつて枢支されており、と のマクネット棒2の一方向の回転角は筺体側壁4 により制限され、他方向の回転角は側壁4に形成 されたストツパ5により制限されている。また筺 5 体外側面には位置決め用リプ6が形成されている。 7は両側壁4間に架けわされた支持金具である。 このように構成されたマグネットプロックを、第 2図a,b,c などに示された防犯スイッチケー メ8内に取付けるのであるが、とのときプロック 10 1の位置決め用リプ6をスイッチケース8内に設 けられている係合凹所 9に係合してブロック1を 所定の位置にはめ込み、スイッチケース8の裏板 とケースカバーとにより上下の動きを防止して固 定するのである。プロック1に近接してリードス イッチ10が配設され、リードスイッチ10の両 端は端子板11に接続されている。マグネット棒 2は誤動作を防止しメイッチの作動を確実にする ために回転範囲を制限されており、第1図におい て左回転方向にはストツパ5により約20度、右 回転方向には側壁4により約60度に回転角を押 えられている。第 3 図は動作状態を説明するもの で、a図に示すように窓などに貼着した磁性体片 12が近くにある場合にはリートスインチ10の 接点が同極に磁化され互いに反発して離れ、b図 25 に示すように磁性体片12が遠くにある場合には リートスイッチ10の接点が互いに反対極に磁化 されて接触する。とのようにして窓などの開閉を 検知して警報装置などを作動させるととができる

第2図aは第3図に説明したような動作を行な 50N型スイッチであり、とのプロック1の取付 個所を変えることにより第2図bに示すような OFF型ヌイッチにすることができる。第2図c は二枚戸用スイッチである。また第4図および第 5図にプロック1とリードスイッチ10との相対 配置および検知面が上配の場合と異なつた例を示 す。13はケースカバー、14は取付金具である。

のである。

本考案によるロータリーマグネット式防犯スイ *ツチは上記のように構成されており、小型の方形 筐体1内に枢支3されたマグネット棒2の回転角 を筺体1の内部の形状により一定範囲に制限する とともに筐体外側面に位置決め用リプ6を形成し てなるマグネットプロック1を、 スイッチケース 8内に設けられている係合凹所 9に上記り ブ6を 保合して取付けかつマグネットプロック1に近接 してリードスイッチ10を配設したものであるか 状で回転角を制限したことにより品質の安定した 製品を量産することが容易となり、方形筺体の外 側面に位置決め用リプを形成したことにより部品 に互換性をもたせ品種別の製造工程を簡略化する ことができ、スイッチケース内の係合凹所に位置 15 決め用リプを係合してプロックをケース内に取付 けるようにしたので、ケース内でのマグネットの 入れ替えあるいはマグネットの種別の交換などを

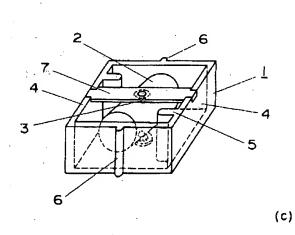
現場で行なうことができ作業能率を向上し得るな どの利点を有するのである。

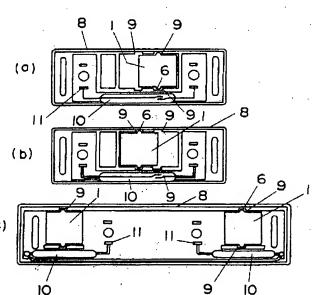
図面の簡単な説明

第1図~第5図は本考案によるロータリーマグ 5 ネット式防犯スイッチの実施例を示すもので、第 1図はマグネットプロックの斜視図、第2図a . b, cは種々の実施例のカバーを除いた正面図、 第3図a,bは動作説明図、第4図は他の実施例 でaはカバーを除いた斜視図、bはそのAーA断 ら、マグネット棒を小型筐体内に枢支して内部形 10 面図、第5図はその他の実施例でaはカバーを除 いた正面図、bは斜視図である。

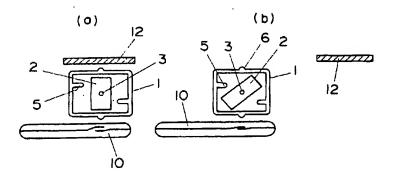
> 1……マグネットプロックの筐体、2……マグ ネット棒、3……回転軸、4……側壁、5……ス トッパ、6……位置決め用リプ、7……支持金具、 8……スイッチケース、9……係合凹所、10… …リードスイッチ、11……端子板、12……磁 性体片、13……ケースカバー、14……取付金 具。

第1 図

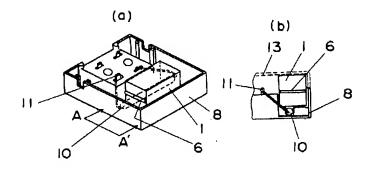




第3図



第4図



第5図

